


十条北ブロック 第13回ブロック会議 議事要旨	
開催日時	平成27年11月12日(木) 19:00~20:30
開催場所	上十条五丁目町会会館
出席者	部会役員：松岡部会長、小池副部会長、山崎十条仲原2・4町会会長 事務局：十条まちづくり担当課 岩本課長、徳田主査、荻野、根本 コンサル：(株)地域総合計画研究所 森井、大町
参加者	17名(部会役員を除く)
議題等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会あいさつ 2. 昨年度の活動の振り返り 3. 空家について(ワークショップ) 4. 報告事項(主要生活道路B路線 現況測量について) 5. 閉会あいさつ  <p>【第13回十条北ブロック部会の様子】 ※参加者の顔がわからないように、一部加工しております。 ご了承ください。</p>

<p>議事要旨</p> <p>1. 開会あいさつ</p> <p>——十条北ブロック部会長あいさつ——</p> <p>十条北地区の空家について、窓ガラスの割れた家やハクビシンが住み着いている家があるなど、すでに問題が出てきている。防災まちづくりを進めていくため、今日はワークショップにて色々な意見を出していただきたい。</p> <p>2. 昨年度の活動について</p> <p>昨年度は防災ひろばについて検討しました。検討の中で防災ひろば用地として、地区内にある空家や空地を活用できないかという意見が出され、今年度は地区内の空家の実態を把握し、防災ひろばや道路整備による代替地の候補として検討を進めるとともに、地区の防災まちづくりの取り組みにつなげたいと考えます。</p> <p>3. 空家について(ワークショップ)</p> <p>空家に関する法律と空家が地域にもたらす問題等について説明しました。</p> <p>また、地区内にどのような空家等があるのか、2つのグループに分かれて、自由に意見を出し合い、状況等をメモ(付箋紙)を使って地図上にまとめました。その後、グループ毎に出された意見を基に、次のまち歩きのルート案について発表してもらいました。</p> <p>○ワークショップで出された主な意見</p> <p>【グループ別発表のまとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で、空家について意見を交わしたことで、自宅周辺だけでなく、地区内に多くの空家があることが分かった。
--

- ・東日本大震災の際、窓ガラスが割れ、屋根瓦が落ちて危険な家があった。町会の皆さんのご尽力により所有者に片づけていただいたが、その後、雑草が生え、管理が行き届いていない家があり、放火などが心配。
- ・最近お住まいの方が入院等で、空家になっている場所もいくつかある。
- ・今回示した空家の中には、所有者や関係者に連絡が取れる家と連絡が取れない家がある。町会でできることは限られるので、行政からも指導をしてほしい。
- ・上十条五丁目地区の中心あたりに駐車場などの低未利用地があるので、町会の防災拠点にできないか。何とか区の方で買い上げてもらい、公園等を整備してほしい。
- ・今後地区内の高齢化等が進み、空家が増えていくと予想されるので心配。
- ・上十条五丁目町会会館を中心にまち歩きのルートを検討すると、東西に2～3グループに分かれて、まち歩きをするのはどうか。

【上十条五丁目Aグループ意見詳細】

●空家になった経緯

- ・居住者がご高齢になり、子どもと住むために転居した後、空家となった。
- ・居住者が病気で病院等に入院、入居した後、空家になった。
- ・30～40年空家のままで、経緯が不明のものがある。

●空家の破損が見られる

- ・屋根の上のアンテナが壊れて落ちてきた事がある。2階に設置されているクーラーの室外機が落ちて来そうで怖い。
- ・二階の窓が開いたままになっている。ガラスが割れているのかもしれない。
- ・先日の火事の跡地は、ブルーシートで覆われているが、火事で焼けたままになっている。
- ・屋根のトタンが強風で飛んだことがある。

●敷地が管理されていない

- ・東日本大震災で屋根の瓦が落ちてきた事を契機に空家を取り壊されたが、跡地に雑草が多く生え、管理がされていない。

●空家の所有者について

- ・水道が出しっぱなしで、所有者に連絡を取ろうとしたが、連絡が取れなかった。

●空家である状態に不安を感じる

- ・近年空家になった家にまだ電気が通じているようなので、漏電しそうで怖い。
- ・空家が倒壊するのではないかと不安だ。空家の強度を調べてほしい。
- ・鉄骨の家なので木造よりは強度があるのではないかとと思っているが、災害時の不安は残る。
- ・東日本大震災の時には、空家の地震の揺れが大きかった気がする。空家が倒壊しそうで怖い。
- ・人が無く暗いので不気味だ。

●空家の地域での活用

- ・空家の玄関先を地域の資源ごみ置き場として活用している。

●空家の防災まちづくりでの活用

- ・上十条5丁目の中央部に広めの空き家があるので、地域の拠点として活用してほしい。
- ・空家を買って上げて防災ひろばとして整備してほしい。

●まち歩きのルート案

- ・町会会館を中心に東西に分割して歩くルートを提案。

【上十条五丁目Bグループ意見詳細】

●空家になった経緯

- ・居住者が施設に入った後、空家になっている。
- ・そのうち親族の方が住むという話のある空き家がある。

●空家の破損が見られる

- ・窓ガラスも割れ、人が入れないようにロープが張ってある危険な状態の空家がある。
- ・廃屋のような空家が二軒続いている。

●敷地が管理されていない

- ・空家の敷地に大きな樹木があり、全く伐採されていない。
- ・居住者は施設に入られたようで、ずっと空家になっている。ゴミ屋敷でとても人が住める状況ではないままの空き家になっている。

●空家の所有者や管理について

- ・空家になっているが、所有者の息子さんなどと連絡がとれる場合がある。
- ・不動産屋が管理しているらしい空家が何軒かある。

●賃貸住宅が空家となっている

- ・賃貸の一戸建ての住宅が、空家となっている。空家となって2～3年は経過している。
- ・大きな住宅が空家となっている。地主が管理しているが4～5年くらい前からずっと空家になっている。

●まち歩きのルート案

- ・上十条五丁目は、地区を三つに分け三グループで、十条仲原三丁目は一グループで行う。
※ルートは当日決める。

4. 報告事項

平成27年8月19日に開催された主要生活道路B路線の現況測量説明会の概要を報告しました。今後の予定は平成28年2月以降に、沿道の土地建物の権利者の方々を対象とした勉強会を開催し、現況測量結果と線形案の検討状況について報告し、ご意見を伺う予定です。

《質疑応答》

Q1：B路線の説明会の時にA路線の説明もあったか。今後のA及びB路線の説明会はいつか。

A1：本報告事項はB路線についてです。8月に現況測量説明会を行い、次回の勉強会は2月以降に開催予定です。ちなみに今回の資料にはありませんが、A路線の説明会は12月1日に開催が決まっています。沿道権利者への案内はこれから通知予定です。

Q2：A及びB路線は、不動産売買の重要説明事項に該当するののか。

A2：現時点では重要説明事項に該当しませんが、事業者等からの問合せに対して区は情報提供を行っています。

5. 閉会あいさつ

———十条北ブロック部会長あいさつ———

今回出席者が少なかったが、人が多いともっと情報が出てきたのではないかと思えた。次回は寒い中でのまち歩きになるが、ご協力をお願いしたい。

以上